



湯河原小学校

～学校保健委員会～ テーマ「かぜ、インフルエンザの予防について」

今月号は、『体ははつらつ』に関する取り組みの一つとして、学校保健委員会について紹介します。

学校保健委員会とは、校医、児童と教員及び保護者の代表が集まって保健・衛生に関するその年のテーマに沿って話し合う会議です。今年度は「かぜ、インフルエンザの予防について」をテーマに、校医の伊東先生、3年生以上の学級代表児童、教員、保健委員会代表児童とPTA代表（会長・副会長・PTA保健育成委員会）が参加して行われました。

まず、児童にインフルエンザ予防についてのアンケートをとったところ、石けんやハンドソープを使って手を洗っていない人がいる（低学年7%・中学年4%・高学年10%）、指先やつめの間、指の間、手の甲や

手首を洗っていない人がいる（低学年11%・中学年9%・高学年17%）という結果が出ました。そこで、学校保健委員会当日には、保健委員会の児童による「手の洗い残し実験結果の発表」が行われ、どのように手を洗ったらきれいになるのかをみんなで学びました。

また、事前に予防の方法について学級ごとに話し合い、当日、発表をしました。各学級からは

○うがい・手洗いをしっかりしよう。手洗いは20秒（歌を歌いながらすると楽しい）。クラスで手洗い表を作ろう。ポスターをばらう。放送で呼びかけよう。

○せき・くしゃみは人にかけない



ようにしよう。マスクをしよう。

○ハンカチは各自でちゃんと持てよう。

○早寝早起きが大切



などの発表があり、予防方法について、児童が学年に応じて、一生懸命に考えている姿が伝わってきました。

最後に、校医の伊東先生から、十分な睡眠をとること、3食しっかり食することなど、規則正しい生活をして病気にならない体づくりや、うがい・手洗いなどの予防がとても大切だというお話をいただきました。

学校保健委員会で話し合ったことや学んだことは、学級代表児童からクラスの全児童に伝えられ、全校で協力して、かぜやインフルエンザの予防に努めています。



吉浜小学校

～学習発表会！～

12月5日(土)に、学習発表会を開催しました。これまでは、上学年と下学年とで別日程で行っていましたが、今年から全学年で同じ日に実施することになりました。発表の時間は低学年、中学年、高学年の三つのブロック構成とし、ブロックごとに児童や参観者の入替えを行うことにしたため、より多くの参観者の方に前列の席で観賞していただけるようになりました。

また、児童が学年を越えてお互いの発表を見ることができるよう、前日を公開リハーサル日とし、クラスごとに、ほかの学年の発表を見学して良いことにしました。

公開リハーサルでは、最後の6年生の発表の時には、見学席のほとんどが埋まるほど多くの児童が

見学に来ました。劇、合奏、ダンスと続く発表を下級生たちは食い入るように観賞し、聴くべきところは静かに聴き、盛り上がるころでは歓声が湧き上がるなど、一生懸命に発表している6年生と、見学している下級生が一つになった、活気と熱気のあるステージとなりました。

発表会当日は、肌寒い天候となりましたが、多くの保護者や地域の方々に参観に来ていただき、1年生は「1年生の1日」（劇と合奏）、2年生は「すつとび2年のたんけんたい」（群読、劇）、3年生は「みんなの力で」（群読、鼓笛合奏）、4年生は「ひびけ4年生」（太鼓、劇、合唱）、5年生は「学びのニュースステーション」（劇）、6年生は「絆」（劇、合奏、ダンス）の発表を行いました。

た。どの学年の児童にも、ちょっぴり緊張の色が見えましたが、一生懸命発表している様子がとても印象的な発表会になりました。

地域の方々には、2年生の町探検や4年生の太鼓などのご指導をいただきました。また、保護者の方々には、衣装や小道具の製作をはじめ、多くの力を貸していただきました。

また来年も素敵な学習発表会となるように、今後ともよろしくお願いいたします。ご協力ありがとうございました。

